

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもサポート「きらり」伊勢崎事業所			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	伊勢崎事業所の強みは、教育、心理、言語療法、理学療法の専門家が配置されており、保護者はお子さんの成長について適切なアドバイスを受けることができ、お子さんは、良質な支援を提供されることができている点です。	専門性を活かした良質かつ適切な支援の提供と、保護者・児童の意向に沿った支援内容	本人支援のみならず、家族支援、地域支援についても、持てる能力を最大限に発揮できればと考えています。
2	伊勢崎事業所のスタッフと保護者・利用児童は、専門的な信頼関係が成立しています。	事業所内のみならず、必要に応じて関係機関、相談員などとも連携して、良質なサポートを展開させていただきます。	様々な課題やライフステージに応じた適切な支援を今後も展開してまいります。
3	ポルトガル語、スペイン語、日本語での支援が可能であること	外国籍で日本語理解が不十分な保護者に寄り添った適切なサポートをしています。	外国籍の子どもがより自立的な日常生活を送ることができるように、関係機関との連携も強化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内がワンフロアのため、児童が集中して療育支援に参加できない面があります。	事務スペースと個室は仕切られていますが、天井が高いため音声が聞こえますので、改善が必要な状況です。	事業所の移転も視野に検討しています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート「きらり」伊勢崎事業所					公表日	2026 年 2 月 14 日		
						利用児童数 18	回収数 16		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1				適正な広さと環境整備に努めています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1				法令に遵守した配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					子どもの特性に応じた環境整備を行い、様々な配慮を施しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					整理整頓、衛生管理に努め、快適に過ごせる空間づくりを行っています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					個別空間も用意されており、必要に応じて使用されています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					支援プログラムに沿った支援内容の展開を心掛けています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					アセスメントを丁寧に行い、状態を把握したうえで、保護者・本人の意向に沿った適切かつ良質な支援展開をしています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		ガイドラインに沿った内容で作成しています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					個別支援計画は、全スタッフが協働して関わることとし、コンセンサスを得ながら作成・実施されています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					本人状態、目標、季節など様々な状況に留意しながら、工夫された取り組みをしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12		2	2		利用者が通園しているこども園等とは、連携していますが、利用者以外の子どもとの関りは、兄弟姉妹です。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15		1			契約時にご説明していますとともに、事業所内で掲示しています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	2				同意をいただく際に、内容面のご説明をしています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	2	1		家族支援については、ご要望に応じて対応しています。また年に数回保護者向けの研修懇談会を企画しています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15		1			送迎にお越しになられた場合は、フィードバックを実施しています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	2			家族相談は適宜実施されています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					受容・傾聴・共感を旨として、お一人お一人に向き合い、良質性と適切性を目指して取り組んでいます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1			ご家族が参加できるイベントを季節ごとに開催しています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1			相談窓口を明記しているとともに、随時相談を受け入れて、必要に応じて他機関にお繋ぎするお手伝いも行っています。	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					お子さんや保護者様のお気持ちに寄り添い、お話ししやすい環境整備を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12		3	1		SNS（フェイスブック、インスタグラム）を通して情報共有をしています。また掲示。ホームページ等でも発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	1	2		個人情報は厳重に管理されています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12		4			各種マニュアルに沿って、定期的に訓練・研修を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	2	1		火災・地震・不審者等に対する訓練は、毎月実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	1	2		安全管理は、送迎も含めて、様々なリスク管理を行っていますので、説明も強化していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1				これまでに保護者様に連絡するような事故は未然に防ぐことができていたが、引き続き留意します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					引き続き安心して通所いただけますよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16					お一人お一人の課題に寄り添い、適切かつ良質な支援を展開して、楽しく通っていただけますよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					さらに専門性を活かし、充実した内容のご提供ができますよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート「きらり」伊勢崎事業所		公表日 2025 年 2 月 14 日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全に過ごすことができるように整備しています。	個室はあるが、音が漏れてしまうため、状況により工夫が必要な状況です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		専門職を法令に基づいて配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性に応じた環境整備を行い、様々な配慮を施しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓、衛生管理にと努め、快適に過ごせる空間づくりを行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別空間も用意されており、必要に応じて使用されています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAに基づいた業務遂行がされています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価内容は公表され、改善点を速やかに検討しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返り、定期的な諸会議や1ON 1 ミーティングにより、意見を把握し業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行っていませんが、内部監査を実施し、業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修は、法令研修のほか自主研修、発達支援研究所主催研修、外部研修などに参加しています。	各種研修における言語的配慮が課題になります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法令に基づいて作成・公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に行い、状態を把握したうえで、保護者・本人の意向に沿った適切かつ良質な支援展開をしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は、全スタッフが協働して関わることとし、コンセンサスを得ながら作成実施されています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は、全スタッフに共有されており、コンセンサスを得ながら実施されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントは、発達支援研究所と協力して開発されたもので、選択式と記述式の部分もあり状態把握しやすくなっています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った内容で作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お互いの専門性を尊重しながら、基本部分はチームで立案されています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		本人状態、目標、季節など様々な状況に留意しながら、楽しみながら成長を促すために工夫された取り組みをしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動を基本としながら、適宜集団活動を組み合わせて展開しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の連絡会で共有し、適宜打ち合わせや相談をしながら役割分担を明確にしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りは適宜実施されています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は、速やかに記録され、支援内容の共有・検証・改善に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		遅くとも個別支援計画作成後、6か月以内にモニタリングを実施し、次の支援展開に活かしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と担当スタッフが参加し、相談員、保護者、状況により関係機関（保育園・こども園スタッフ）も参加してます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関との連携を適宜行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		可能な範囲で、担当者会議やモニタリングに関係機関との連携を図るように努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学に関しては保護者支援を行いながら、教育委員会との連携、学校訪問への同行なども行います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			相談員、保健師との連携は必要に応じて行っています。	地域の児童発達支援センターとの連携についても努めていきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		利用する子供を通じた連携はしています。	事業所全体としても連携について、どのような形が可能か検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ほぼ毎回の利用時に、フィードバックを行っています。	家族支援にさらに取り組む必要があると思います。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族参加のイベント開催や保護者参加の研修会の実施などを行っています。	子育てサポートや家族支援の充実をしたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明しているとともに、事業所内およびホームページにて周知しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に丁寧に聞き取りを行って反映させています。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		ていねいに説明し同意いただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		求めに応じて傾聴し必要な助言や関係機関へお繋ぎしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に数回、集団による家族相談の機会を設定し、横の繋がりに配慮しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適宜、適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS（フェイスブック、Instagram）での更新に努め、保護者参加型で情報共有しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		適切に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		理解していただけるように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の自治会に加入し、可能な範囲で交流しています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、火災、地震、不審者、その他災害に関する訓練を毎月実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害編と感染症編のBCPを作成し、訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		こどもの健康上の留意については、事前に正確な情報を把握し、共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に聞き取り、必要な対応を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		送迎も行っていますので、安全第一の運営を心掛け、安全計画に基づいた支援を展開しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書に基づいてご説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった場合は、スタッフ間で共有し、より大きな事故を未然に防ぐよう努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		採用時とその他年に1回研修に参加して、適切な支援展開をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関しても適宜適切な対応を行っています。	